

草津市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果の概要

■二一ズ調査について

- ・調査対象

草津市内在住の 65 歳以上の市民のうち、要介護 1 ～ 5 の認定を受けていない方
5,500 名

- ・実施時期

令和 7 年 12 月 10 日から令和 8 年 1 月 13 日まで

- ・調査方法

郵送による配布で実施

- ・回収状況

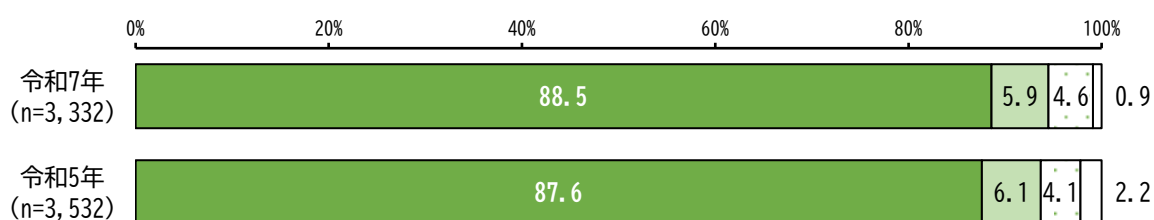
有効回収数 3,336 件
回収率 60.7%

■介護の状況について

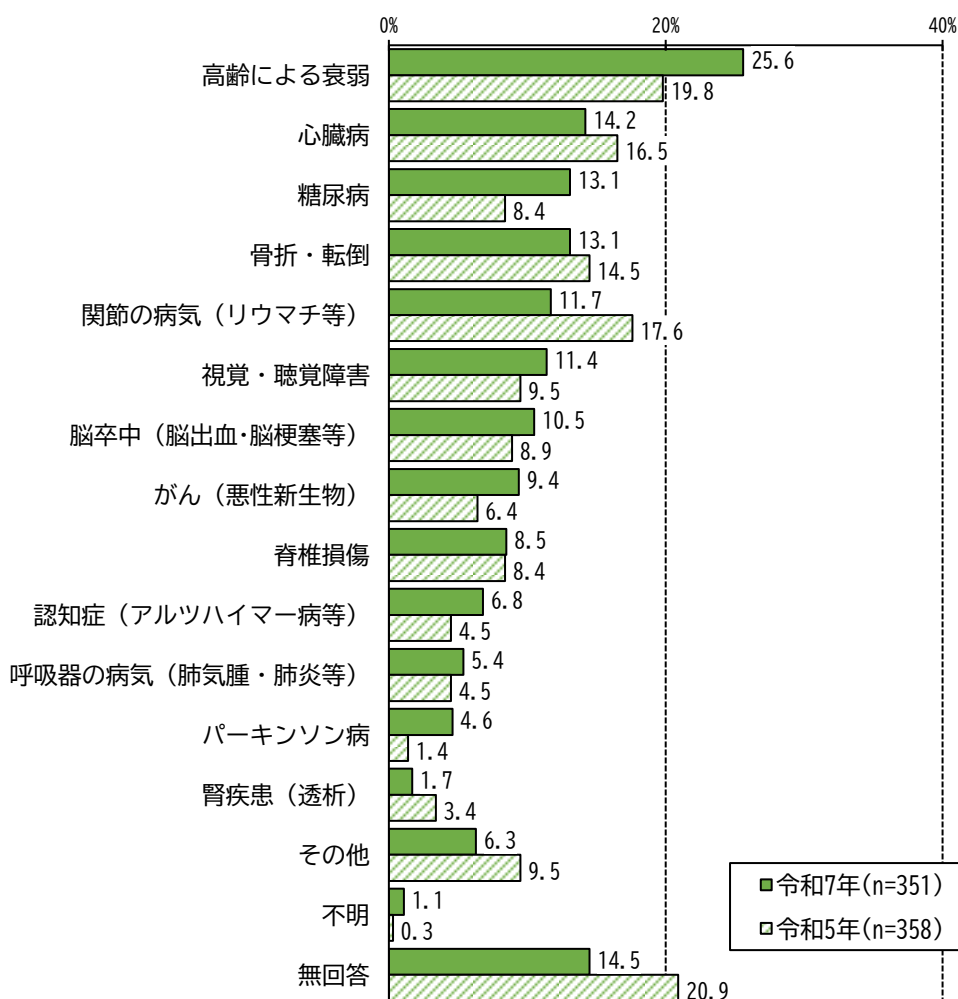
(1) 介護・介助が必要になった主な原因

○10.5%の人が普段の生活で介護・介助が必要と回答しており、介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が25.6%、「心臓病」が14.2%、「糖尿病」と「骨折・転倒」がそれぞれ13.1%となっています。

○前回調査時では、10.2%の人が普段の生活で介護・介助が必要と回答しており、ほぼ同じ割合となっています。



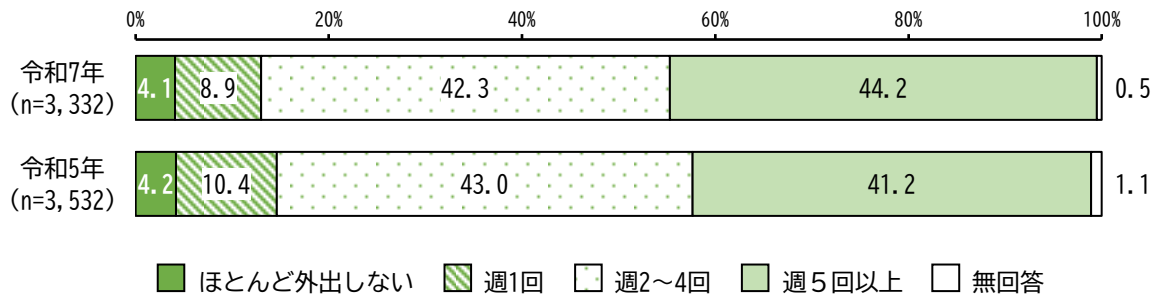
■ 介護・介助は必要ない
 ■ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
 ■ 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
 □ 無回答



■外出の状況について

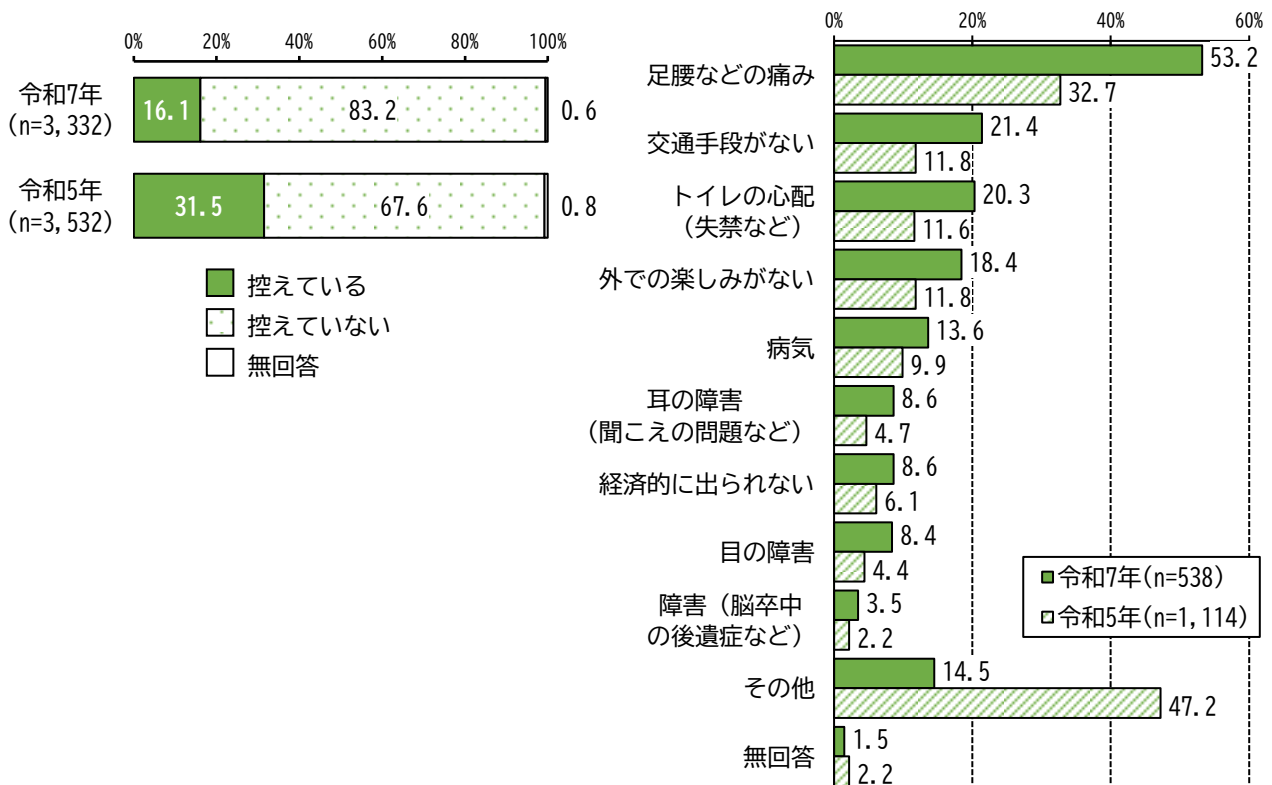
(1) 外出の頻度

○週2回以上外出する人は全体の86.5%で、うち44.2%の人が週5回以上外出しています。前回調査と比べて、週5回以上外出する人は3.0ポイント増加しています。



(2) 外出への意識

○意識的に外出を控えている人が16.1%おり、前回調査と比べて15.4ポイント減少しています。外出を控えている理由としては、「足腰などの痛み」が53.2%と最も多く、次いで「交通手段がない」「トイレの心配（失禁など）」「外での楽しみがない」がそれぞれ約20%となっています。前回調査では最も高かった「その他」は大きく減少しており、その要因として新型コロナウイルス感染症の流行の落ち着きが考えられます。

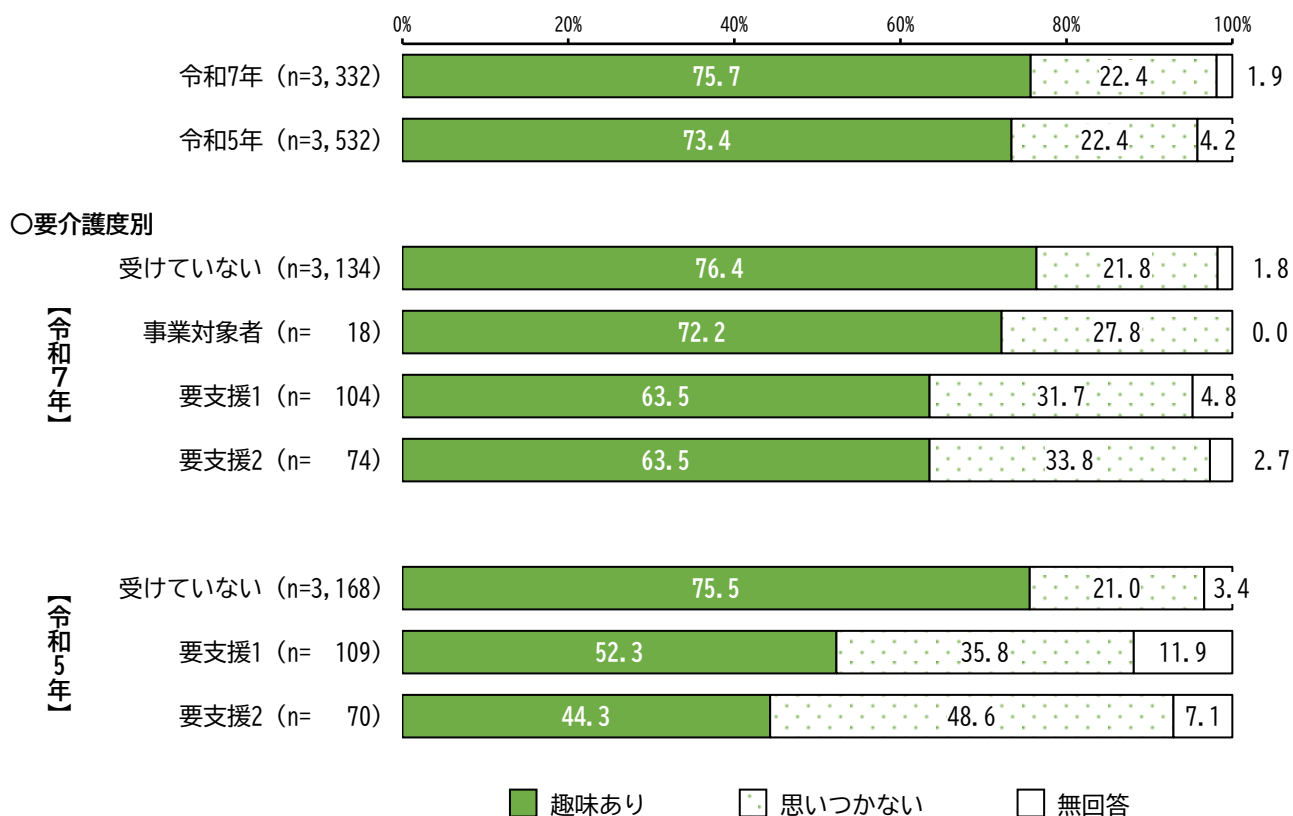


■毎日の生活について

(1) 趣味

○趣味があるかについては、「趣味あり」が 75.7%と前回調査時から 2.3 ポイント増加しています。

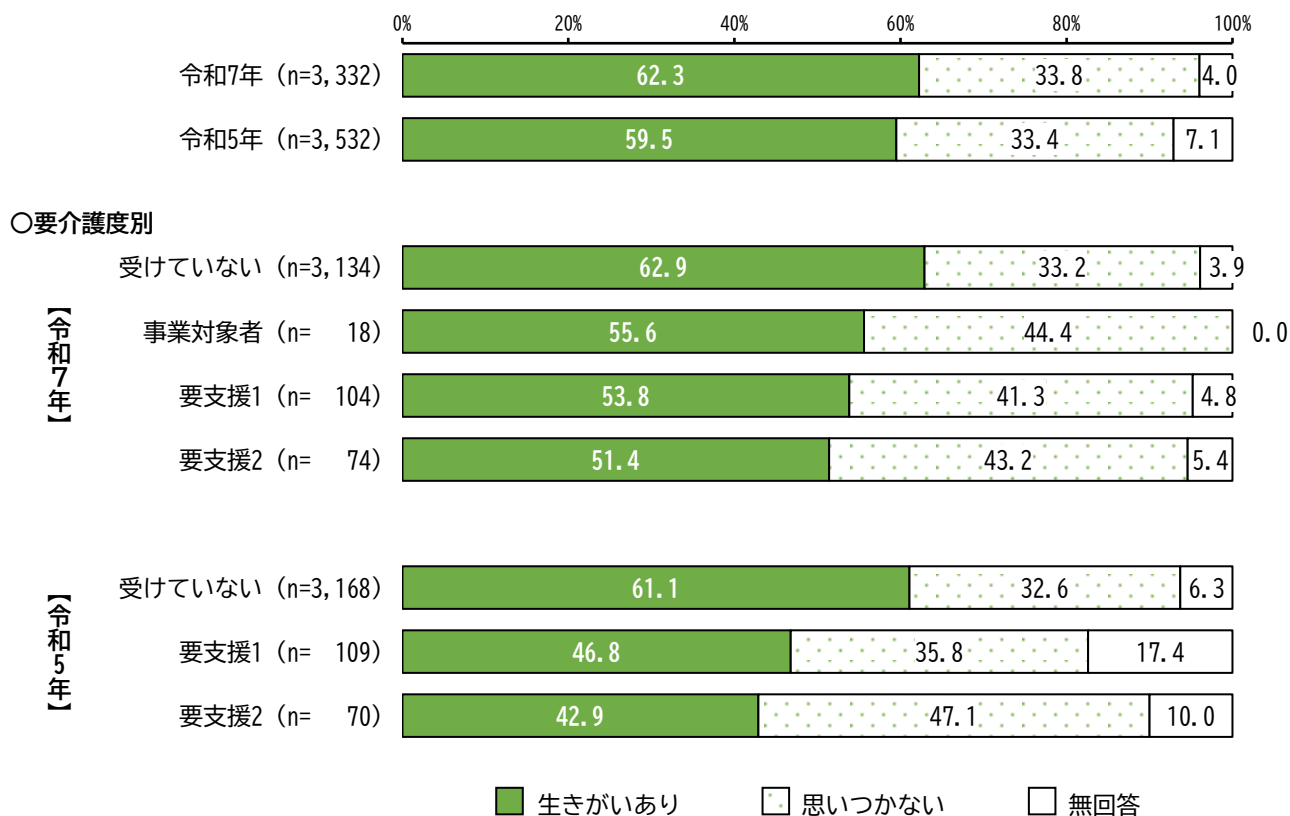
○要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど趣味があると答える人が少なくなっていますが、今回調査では要支援でも趣味があると答える人が 60%を超えています。



(2) 生きがい

○生きがいがあるかについては、「ある」が 62.3%と前回調査時から 2.8 ポイント増加しています。

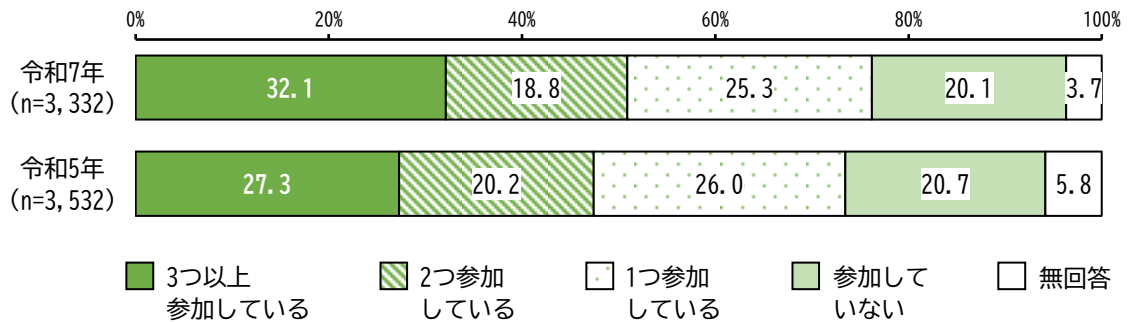
○要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど生きがいがあると答える人が少なくなっています。



■地域での活動について

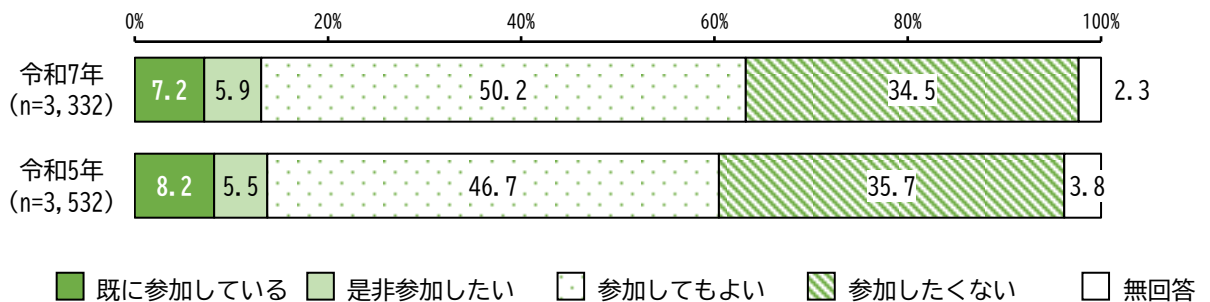
(1) 地域の会・グループ等への参加頻度

○地域の会やグループ等に参加している人は 76.2%であり、前回調査時から 2.7 ポイント増加しています。

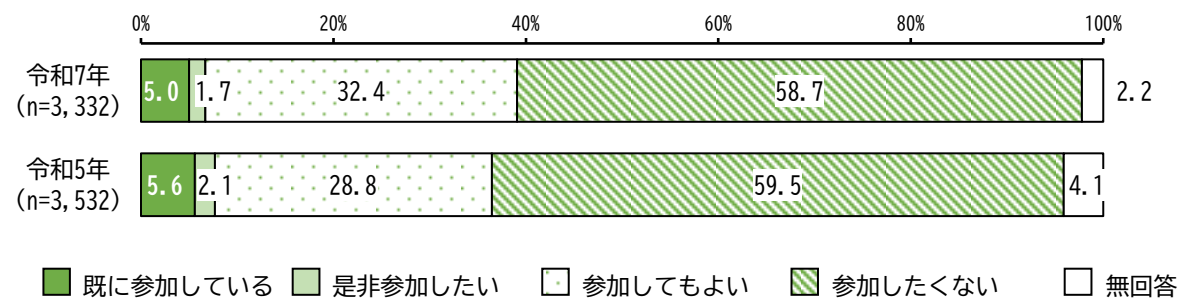


(2) 地域の会・グループ等への参加意向

○56.1%の人が健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと回答しており、前回調査時から 3.9 ポイント増加しています。



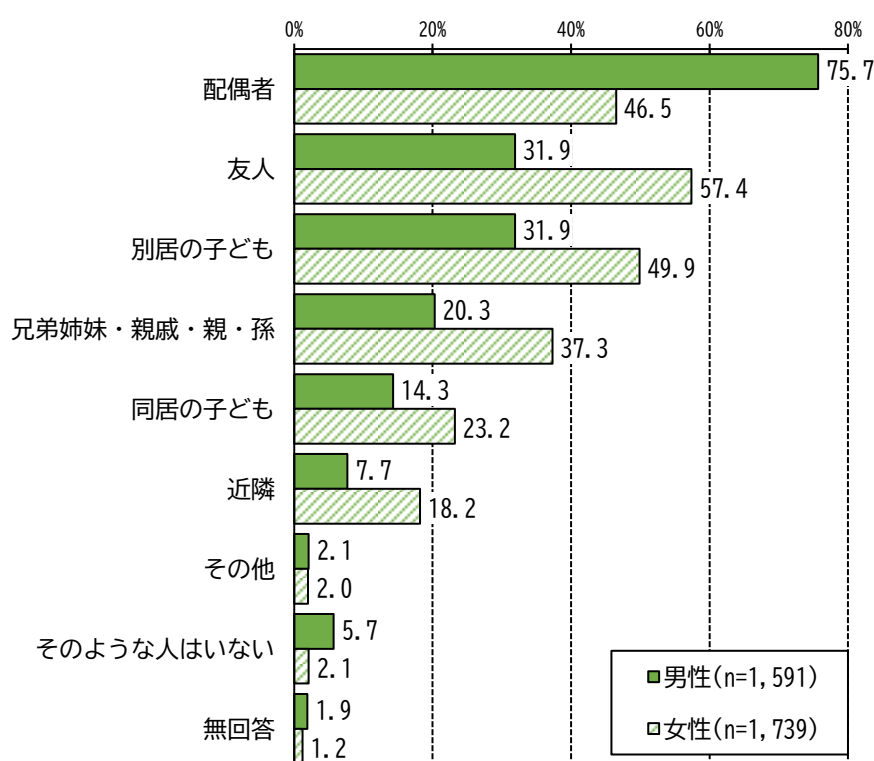
○一方、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたい人は全体の 34.1%で、前回調査時から 3.2 ポイント増加しています。既に参加している人は 5.0%にとどまり、58.7%の人が参加したくないと回答しています。



■たすけあいについて

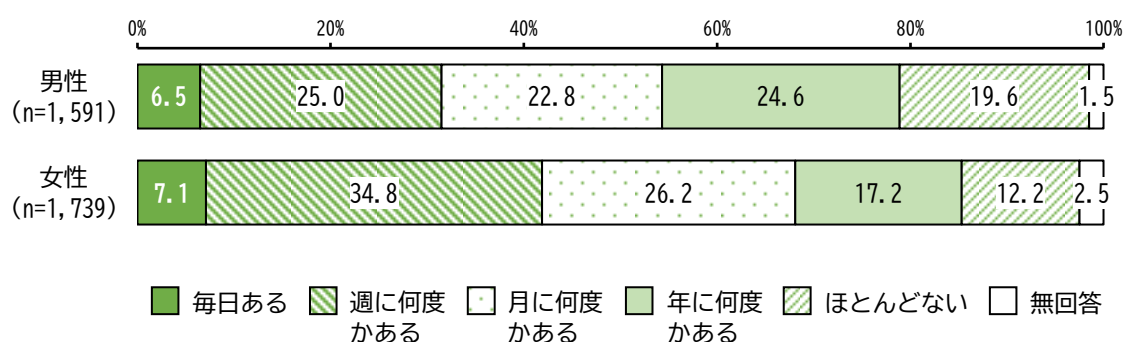
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

○心配事や愚痴を聞いてくれる人について、性別でみると男性は「配偶者」が突出して多いのに対して、女性は「友人」「別居の子ども」「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」など愚痴を聞いてくれる相手が多岐にわたっています。



(2) 友人・知人と会う頻度

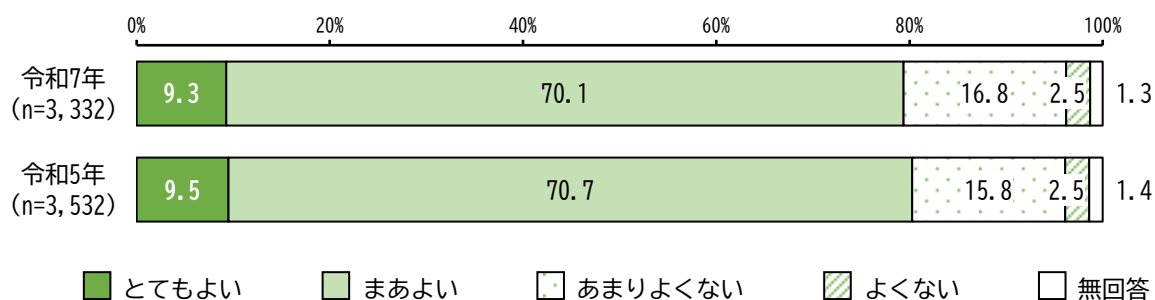
○友人・知人と会う頻度について、性別でみると「月に何度かある」以上の頻度の合計が、女性は67.3%に対して、男性は53.5%と10ポイント以上の差があります。男性の2割近くは「ほとんどない」と回答しています。



■健康について

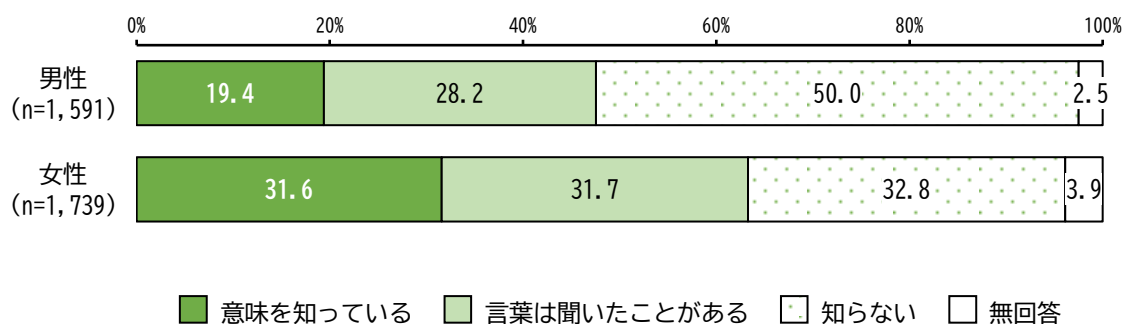
(1) 健康状態

○現在の健康状態については、「よい」と回答した人が79.4%、「よくない」と回答した人が19.3%となっています。前回調査時では、「よい」と回答した人80.2%、「よくない」と回答した人が18.3%だったことから、「よくない」と回答した人が1.0ポイント増加しています。

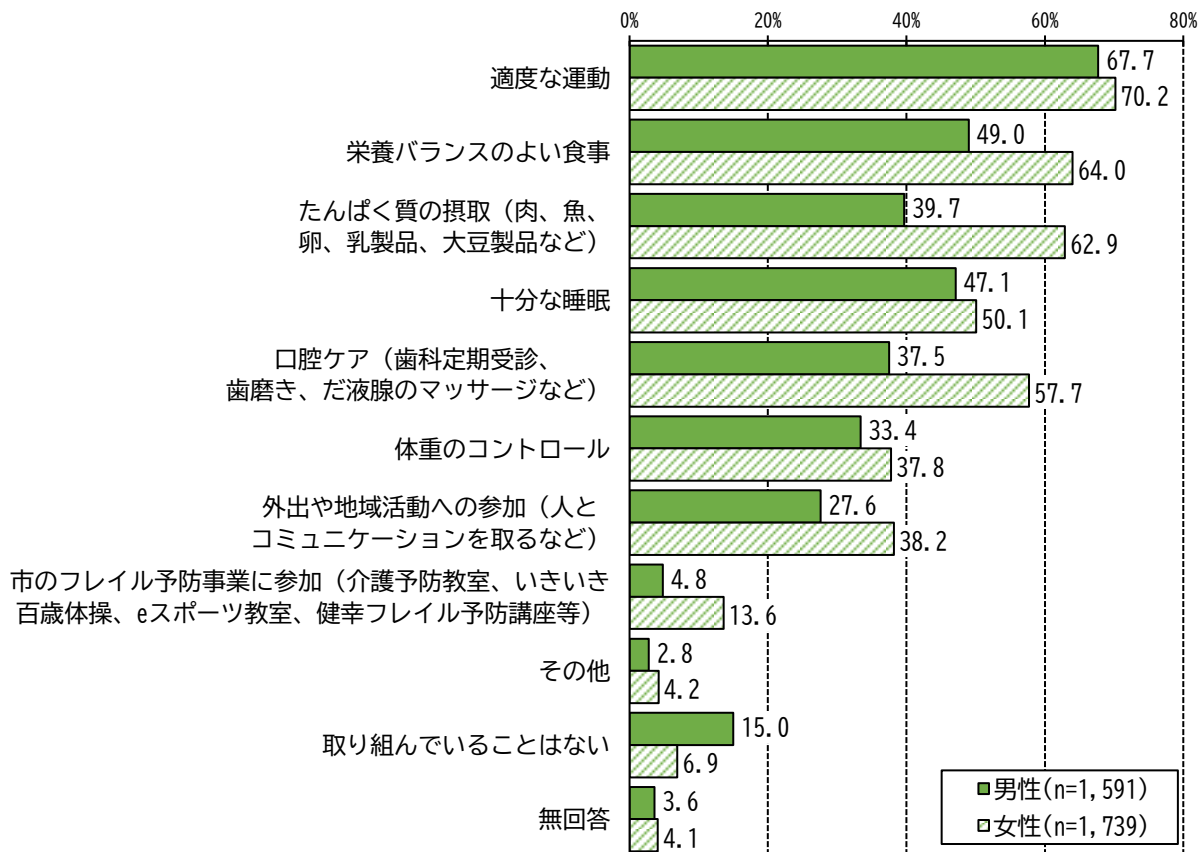


(2) フレイルについて

○「フレイル」の認知状況について、性別でみると「意味を知っている」割合は、女性のほうが男性に比べて10ポイント以上多くなっています。男性の半数は「知らない」と回答しています。



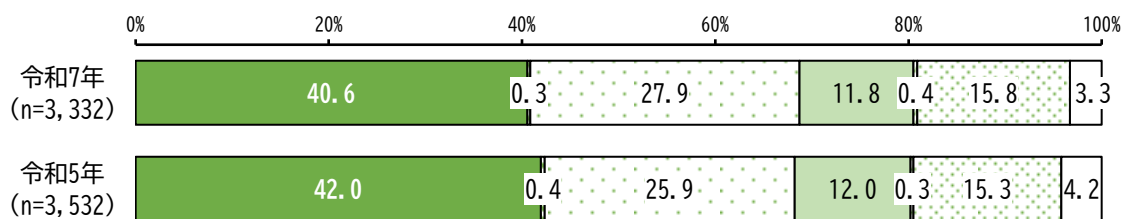
○健康づくりやフレイル予防のために取り組んでいることについて、性別でみると男女とも最も多いのは「適度な運動」で、その割合はほとんど変わりませんが、食事や口腔ケアでは男女で回答割合の差が大きくなっています。いずれの項目も女性のほうが取り組んでいる割合が多くなっています。



■介護保険サービスについて

（１）介護を受けたい場所

○介護が必要となった場合に介護を受けたい場所は、「自宅（在宅）」が40.6%と最も多く、次いで、「施設（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）」が27.9%となっています。



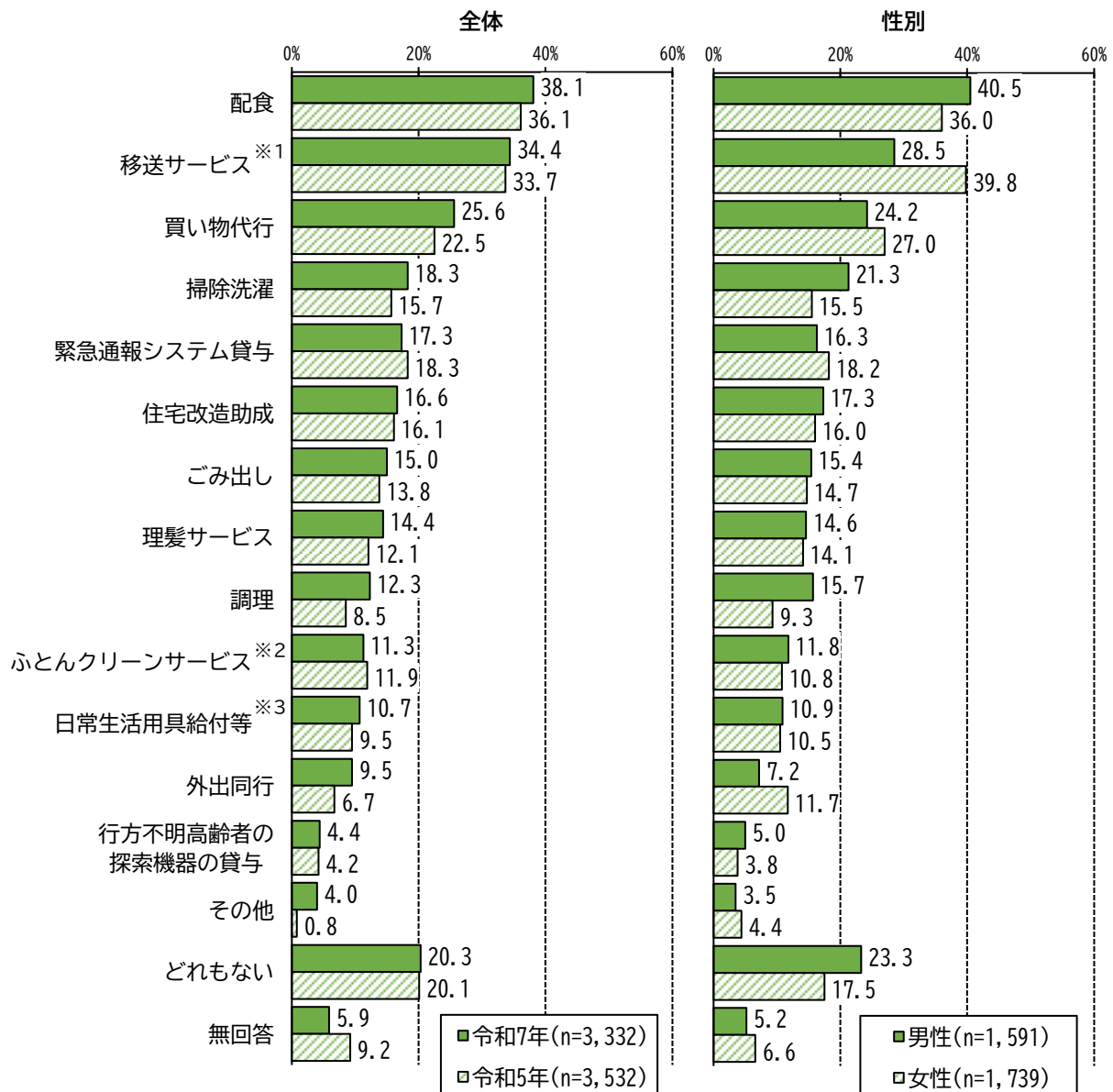
自宅（在宅）
 子ども、兄弟姉妹等親族の家
 施設（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）
 病院等の医療施設
 その他
 わからない
 無回答

■その他

(1) 介護保険制度外の高齢者福祉サービスで利用したいもの

○在宅生活を続ける上で、今後利用したいと思う有償サービスや取組については、「配食」が38.1%と最も多く、次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.4%、「買い物代行」が25.6%となっています。

○性別にみると、男性は女性に比べて「配食」が多いのに対して、「移送サービス」は女性が多くなっています。



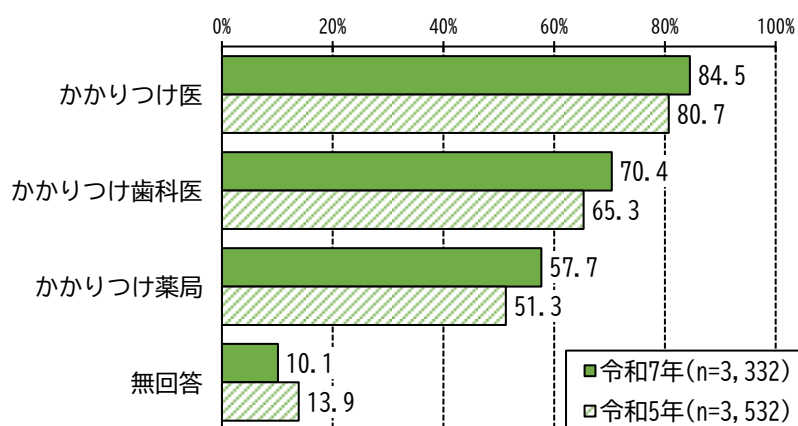
※1 移送サービス …… 介護・福祉タクシー等

※2 ふとんクリーンサービス …… ふとんの水洗いサービス

※3 日常生活用具給付等 …… 電磁調理器・火災報知器・自動消火器等の給付および高齢者福祉電話の貸与

(2) かかりつけ医の有無

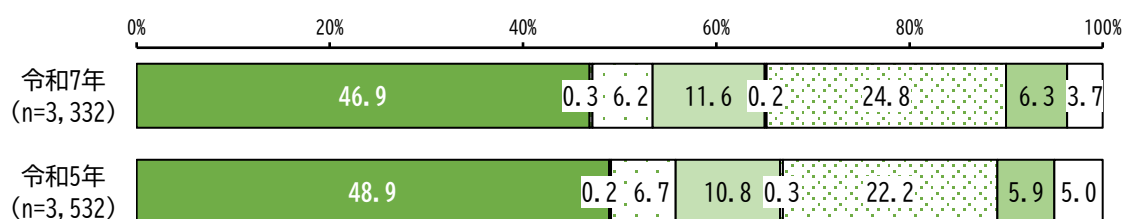
○かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医」がある人は84.5%、「かかりつけ歯科医」がある人は70.4%、「かかりつけ薬局」がある人は57.7%となっています。いずれも前回調査時より多くなっています。



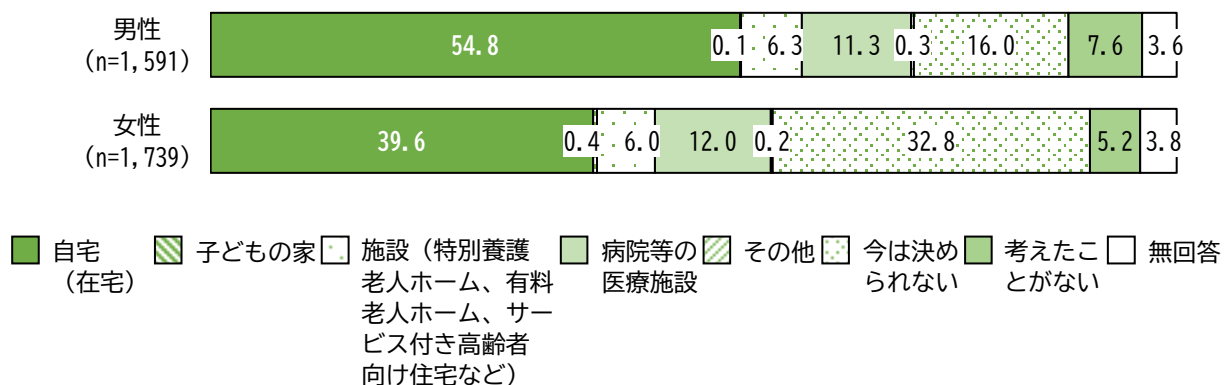
(3) 人生の最期をどこで迎えたいか

○人生の最期を迎えたい場所は、「自宅（在宅）」が46.9%と最も多く、次に「今は決められない」が24.8%となっています。「自宅（在宅）」は前回調査時より2.0ポイント少なくなっています。

○性別にみると、男性では「自宅（在宅）」が54.8%と半数を超えているのに対して、女性では39.6%にとどまり、「今は決められない」が男性に比べて多くなっています。

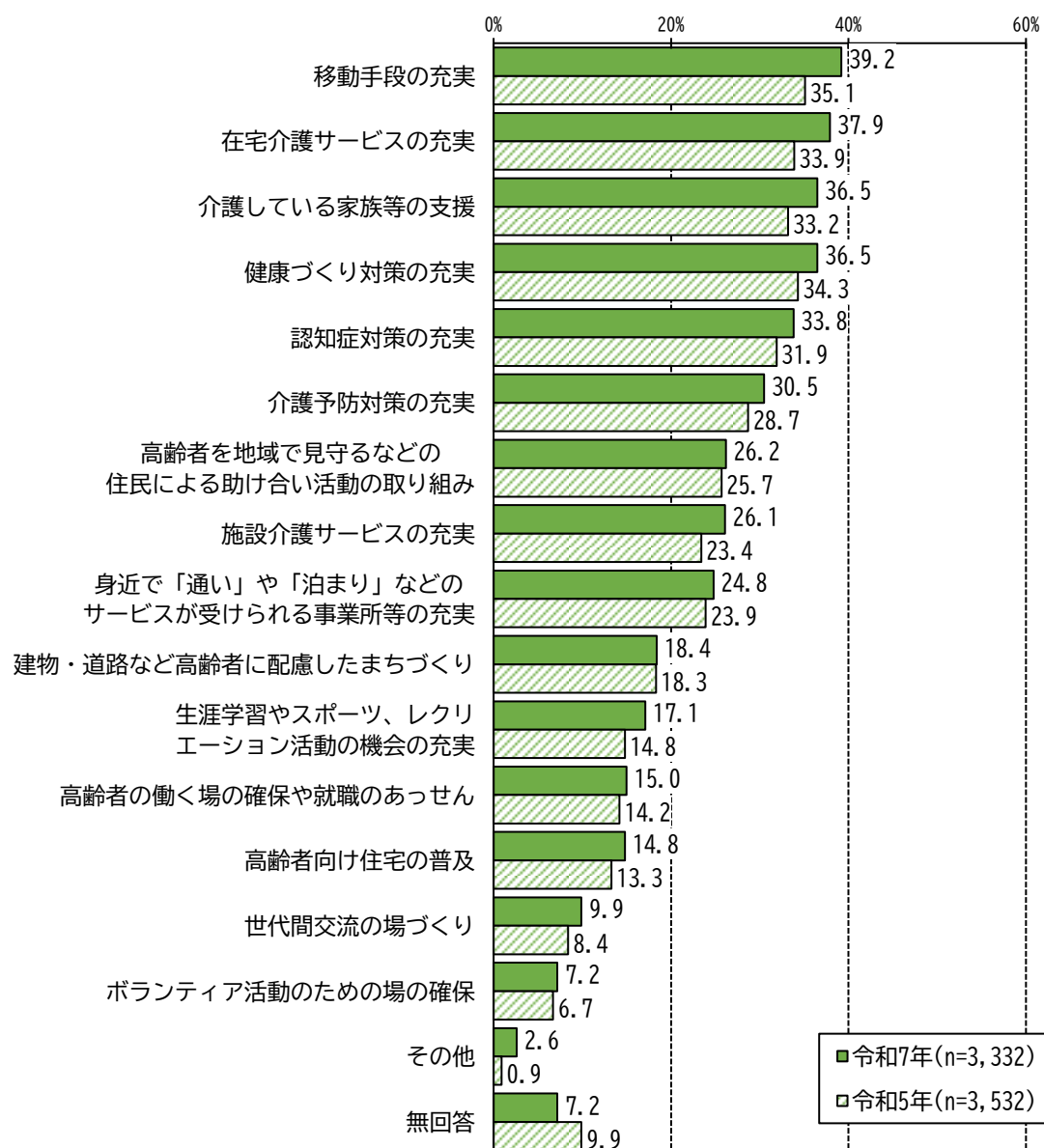


○性別



(4) 重要と思う施策

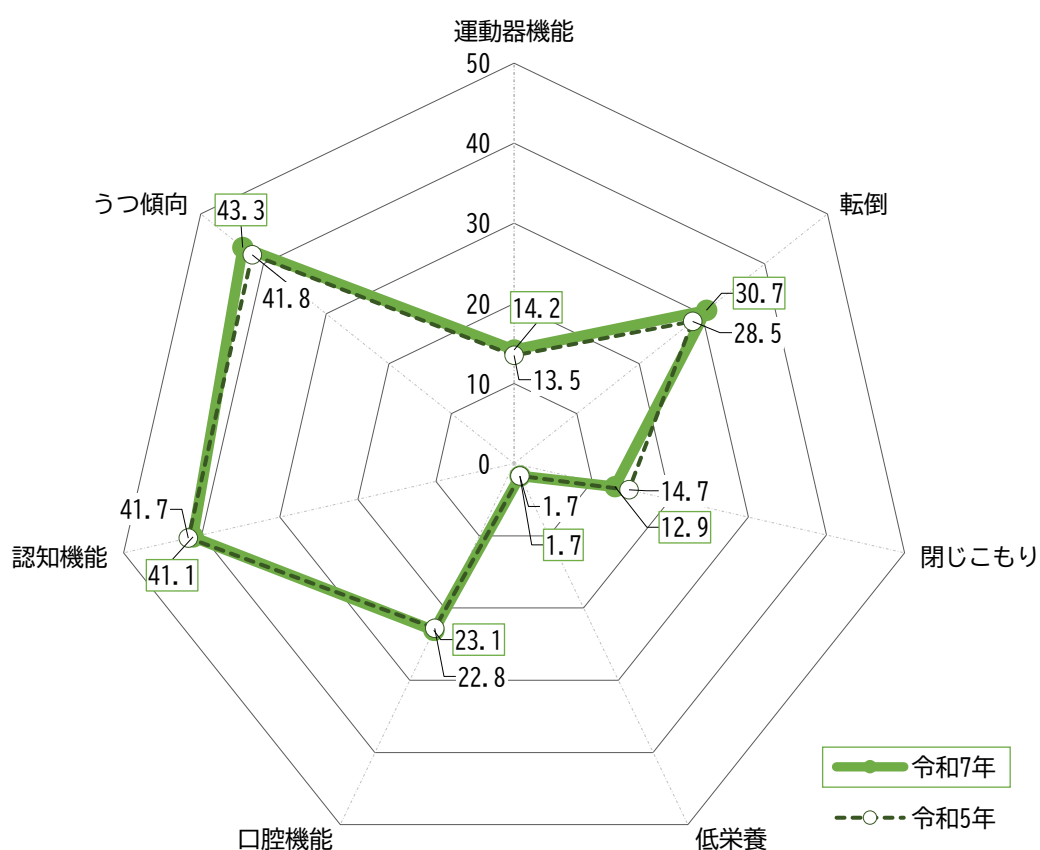
○高齢者福祉について、今後重要と思う施策は、「移動手段の充実」が39.2%と最も多く、次いで「在宅介護サービスの充実」、「介護している家族等の支援」、「健康づくり対策の充実」、「認知症対策の充実」の順番となっています。いずれの項目も前回調査時より多くなっています。



■リスク分析

○リスク者の割合について、「運動器機能」が14.2%、「転倒」が30.7%、「閉じこもり」が12.9%、「低栄養」が1.7%、「口腔機能」が23.1%、「認知機能」が41.1%、「うつ傾向」が43.3%となっています。

○前回調査時は「運動器機能」が13.5%、「転倒」が28.5%、「閉じこもり」が14.7%、「低栄養」が1.7%、「口腔機能」が22.8%、「認知機能」が41.7%、「うつ傾向」が41.8%だったことから、「閉じこもり」に該当する人は1.8ポイント減少する一方、「転倒」に該当する人が2.2ポイント、「うつ傾向」に該当する人が1.5ポイント増加しています。



リスク分析にかかる項目

リスクに関する設問グループのうち、該当する選択肢を回答した場合に加点され、その合計点が一定以上になった時、「リスクあり」と判定されます。

分析項目	設問	回答	該当条件 (リスクあり)
運動器機能	問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない	5項目中3つ以上該当する場合は、運動器機能の低下リスクあり
	問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない	
	問2(3) 15分位続けて歩いていますか。	3. できない	
	問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	
	問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である	
転倒	問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	該当する場合は、転倒リスクあり
閉じこもり	問2(6) 週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	該当する場合は、閉じこもりリスクあり
口腔機能	問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	3項目中2つ以上該当する場合は、口腔機能低下のリスクあり
	問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい	
	問3(4) 口の渇きが気になりますか。	1. はい	
低栄養	問3(1) 身長と体重をご記入ください。	BMI 18.5未満	2項目中どちらも該当する場合は、低栄養状態のリスクあり
	問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい	
認知機能	問4(1) 物忘れが多いと感じますか。	1. はい	該当する場合は、認知機能低下のリスクあり
うつ傾向	問8(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい	2項目中1つ以上該当する場合は、うつ傾向のリスクあり
	問8(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい	